



おかげさまで1期目を迎えることができました。皆様のご愛顧に感謝いたします。

エコバウリフォーム・ニュース

12月号

* エコロジー × バウビオロギー (建築と生態学を融合させた人間中心の建築設計です)

英国&ドイツ環境共生都市観察／第5回 ドイツ・フライブルクの【ハスラッハ地区】

ドイツ・フライブルク市内からtramで約15分のハスラッハ地区。100年前のジードルンクは(集合住宅)英國のガーデンシティの影響を受け、1920年に作られたドイツ版のガーデンシティ(ガルテンシュタット)。近年、注目が集まりフライブルク大学のマイヤー教授らの調査が進められました。現地在住、環境ジャーナリスト村上敦氏により我々の参加が実現となりました。扇方の地形に作られたガーデンシティは、3階建ての組積造。連続住宅が並行し住棟の前後にクラインガルテン(菜園)を配置した住宅地です。住棟間に幅60メートル以上の広い公園があつて、向かい側の住戸が強く意識され並行配置の欠点を感じません。6x40メートルが基本的敷地設計、建築面積は65~70m²、フロントヤードには縦長の十分なガーデンが存在して緑豊かな玄関へのアプローチとなっています。各戸の延べ面積は70m²とやや狭いものの、フライブルク中心地まで近いこと、豊かな近隣公園や敷地の菜園がある住宅ということで現在も人気の住宅地です。この住宅地が持つユーゲントシュール様式(英國のアーツ&クラフツや仏のアルヌーヴォー)の漆喰塗り壁が、ドイツ好みの穏やかな郊外住宅の環境を形成しています。100年前の住宅地でありながら、未だに人々の心を「ハスラッハ地区」はつかんでいるようです。

100年前のテラスハウスによるガルテンシュタット(ガーデン・シティ)

ハスラッハ地区のこの住宅地は、町全体の基本計画とそれを忠実に遵守した建築が未だに並び、100年を経ても人々の高い評価を受け資産価値も上がり続けています。フライブルク市が所有する賃貸区分の入居は、子供が2人以上いることや親族への継承居住を認めていることもある、ウイティング(入居待ち)も多い住宅地です。英國や米国同様に欧米諸国では外觀の改修やイクスピジョンは許されず建物で個性を出すことは限られます。これが統一した素材と色彩で「美しい」と感ずる欧米諸国の街並みを形成してきました。

しかし、現在多少の変化が表れています。屋根の素材や壁の色が微妙に違う点です。賃貸ではなく分譲のこの区画では、玄関ドアにも持ち主の個性が微妙に協調されています。この現象は英國のガーデンシティ同様ですが、100年経過しても、少しも色あせず資産価値が向上し続ける秘密は、住宅地の経営管理手法が確立されているからです。わずか数十年でスクラップ＆ビルトを繰り返し、新築で住宅産業を潤し、固定資産税の増額を狙う日本とは真逆の住宅地が英國とドイツにはありました。取材 (株)アップル大竹喜世彦



マイヤー教授とハスラッハ地区にて



緑豊かなガルテンシュタット



連棟3階建アタッチドハウス形式



連棟住宅どうしが向かい合って歩く者も楽しい雰囲気

【建築と生物学】を結ぶ【バウビオロギー建築】

日本には自然とかかわる【しつらえ】に親しみ自然と共に暮らす習慣がありました。

『エコバウ・リフォーム』は自然素材を多用する私達の考えが詰まっています。

『エコロジーで健康』なコンセプトリフォーム。アップルで推進中です!!



「既存住宅の省エネ」は、日本を劇的に「省エネ化」できる!

新築70万戸より既存住宅5000万戸の省エネが義務

スマートハウス化の危うさ

3.11後の日本のエコハウスの現状は官民とも「スマートハウス」「スマートシティ」の取組を加速しています。スマート化は節電対策と経済効果を生む点がプラスとしても危うさを感じます。まず建物の省エネを進めるべきなのに設備と計算上のやり取りでゼロエネルギーを目指すのは本筋とは言えません。最大の危うさはスマート化のゴールである住宅と町の家電化、ネット化への懸念です。スマート化は快適・省エネを出来るだけ自動的に行う事を目指します。自動化すればするほどシステムは複雑で大きくなり「中央集権的」になります。これは「原発」と同じ構造でリスクは最大です。自動化された暮らしは本当に楽しく豊かなのでしょうか?



View: フライブルク

スマート化は映画「ホームアローン」のように破綻

人は自分が関われば関わるほど楽しくなり愛着も湧いてきます。家庭菜園やヴィンテージカーはその典型で家も同じでしょう。ICOの基本は「長く大切に使うこと」で原点は「愛着」にあるでしょうし自動化はそれを奪うことにならないか危惧しています。スマート化や中止のオール電化のような大きな機械装置で省エネする技術「アクティブ(積極的)」に対して、私達の進めるパッシブは出来るだけ少ないエネルギーで自立するシステムをベースに自然に寄り添って生きる知恵を目指します。パッシブデザインは建物の性能をきちんと高めたうえで、地域の気候や敷地の特性を読み込んで自然エネルギーを活用し、足りない部分を設備で補う設計手法です。アクティブ型のスマートハウスは設備を付けるだけで自動制御を実現できますが、私達のパッシブデザインは多少のスキルと人出も掛りますが「人間らしい技術」で住まい手に家に対する愛着をもたらします。スマート化を全否定はしませんが、先に建物の断熱性能や自然エネルギーを優先するという順番を間違えないことが大切です。

自動化では得られない自然や日常を楽しみ、家に愛着を持って豊かに暮らしましょう。

★(株)アップル、社員が参加した講習会・イベント★

- 10/28(金)【日経住まいのリフォーム2011・東京Bigサミット】主催:日本経済新聞社
- 11/3(木)【セレモニッション建築の最前線 at 浦和高校】主催:日本建築学会埼玉支所
- 11/13(日)【第13回 霜月祭・奈良県御所市】主催:御所市
- 11/22(火)【ネクストビルダーズフォーラム・住宅産業大予測2012】主催:新建ハウシング



次回もアップル隊長の
【ドイツ・建築観察】の
レポートお伝えします!!

エコバウ Blog

弊社ホームページで毎日掲載中です。

●エコ建築&環境の取組みは。。。アップル www.reform-apple.com ベント

ロハス・デザイン&エコロジー・リフォーム

ECOBAU REFORM

リフォームアップル自治医大店
URL <http://www.reform-apple.com>

リフォームアップル自治医大店

0120-393-897

栃木県下野市祇園1-20-1 〒329-0434

(自治医大駅東口・足銀すぐそば)

0285-44-8208 (fax共通)

ホームページで実例を多数ご紹介中。